

博士前期課程（修士） / 共通科目 / 共通科目

科目コード：200003

データ分析方法論 Data Analysis for Nursing Research

担当教員	小林 宏光、米田昌代				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	量的研究、質的研究				
学習目的・目標	<p>学習目的： 看護研究を行う上でのデータ処理の考え方や手法について教授する。</p> <p>学習目標： 1. 量的研究における分析の考え方と主な分析手法が理解できる。 2. 質的研究における分析の考え方と主な分析手法が理解できる。</p>				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1～4	研究全般の手順と留意点 学術論文執筆に必要な知識、文献レビューの技術などについて参考書に沿って講義する			講義	小林
5～6	量的研究に関する考え方と統計学・統計処理の基本 既存データの活用法、量的な研究の考え方、1変数・2変数の記述統計、誤差とバイアスについて参考書に沿って講義する			講義	小林
7～8	さまざまな量的研究デザイン（実験研究） 基本的な実験操作・実験器具の取り扱い・実験結果の取り扱いとレポートの書き方			講義	小林
9～11	質的研究の方法論に関して オープン・コーディングⅠ 1. コーディング（プロパティとディメンションの抽出） 2. ラインバイライン分析と意味のまとまり分析			講義・演習・討論	米田
12～14	オープン・コーディングⅡ：カテゴリー化 アキシアル・コーディング			プレゼン・討論・講義・演習	米田
15	理論的サンプリング セレクトティブ・コーディングとストーリーラインの記述 質的研究の論文の書き方（カテゴリー、プロパティ、ディメンションを使って研究結果を叙述するなど） 質的研究における信頼性・妥当性			プレゼン・討論・講義・演習	米田
教科書					
参考図書等	<p>1. 大木秀一：量的な看護研究のきほん 医歯薬出版</p> <p>2. 大木秀一：文献レビューのきほん 医歯薬出版 2013</p> <p>3. 戈木クレイグヒル滋子：グラウンデッド・セオリー・アプローチ 理論を生みだすまで 新曜社 2006</p> <p>4. 戈木クレイグヒル滋子編：質的研究方法論ゼミナール-グラウンデッドセオリーアプローチを学ぶ 医学書院 2005</p>				
評価指標	授業への参加状況とプレゼンテーション（およびその資料）（100％）各教員の講義回数に応じて配点する。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ					